

平成 30 年度（第 2 回）ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業検討委員会 議事要旨

1. 日 時：平成 31 年 3 月 26 日(火) 13:30～16:00

2. 場 所：AP 新橋 3 階 A 室

3. 出席委員：永田委員長、伊規須委員、岡田委員、酒井委員、田辺委員、原口委員、
益永委員、宮田委員、森田委員、若松委員

(オブザーバー)環境省、経済産業省、総務省、北九州市、愛知県、東京都、
大阪市、北海道、室蘭市、
(公財)産業廃棄物処理事業振興財団

4. 議 題：＜公開＞

(1)北九州 PCB 処理事業における変圧器・コンデンサーの計画的処理完了に向けた取組及び状況について

＜主なご意見＞

- ・変圧器・コンデンサーの計画的処理完了期限内における全量処理完了が確実にになったことに対して、関係者各位の努力に感謝する。
- ・北九州の先行的取組成果を他事業区域に水平展開すること。

(2)平成 30 年度における各部会の取組状況について

＜主なご意見＞

- ・特になし。

(3)平成 30 年度における各 PCB 処理事業の進捗状況について

＜主なご意見＞

- ・見学者の内訳及び見学者が昨年より減少した要因について精査し、次回報告すること。
- ・ヒヤリハットに関する表記が事業所により異なることや、報告件数が事業所によりバラツキがある理由について、次回報告すること。
- ・収集運搬時等にも 15 年間大きなトラブルがなかったことは評価されることであり、記述しておくこと。
- ・周辺の方に PCB 処理事業が受け入れられた理由の一つに、作業安全衛生管理において良好な作業環境の維持・向上に努めてきたことがあると考える。

(4)長期的な処理の見通しについて

＜主なご意見＞

- ・自治体との連携を深め、掘り起しを含めた長期処理計画を策定し処理を進めること。

- ・豊田の長期処理量の算定方法は、他事業区域でも参考になると思われるので情報共有を図ってほしい。

(5) JESCO 施設における「長期保全計画」の取組状況について

<主なご意見>

- ・実績を積んだ長期保全計画であり、これに基づき今後も大きなトラブルなく処理が進むよう万全を期してほしい。

(6) 処理困難物対策について

<主なご意見>

- ・当初、大変困難な対象物が多かったが、個別対象物に対する適格な対応で着実に処理が進んでいると評価する。

(7) 北九州 PCB 処理事業所第 1 期施設解体撤去の進め方

<主なご意見>

- ・見学やホームページ等を通じて周辺住民に情報提供し、透明性を確保すること、また動画等で記録を残すこと。

(8) その他

- ・次回の委員会の開催は、委員長と相談の上で決定する。